



# 学校だより

福生一小ホームページ <http://fussa-1e.hs.plala.or.jp/>

令和5年8月29日  
8・9月号  
福生市立福生第一小学校  
校長 高瀬 智子



## 創立 150 周年に向けて

校長 高瀬 智子

2学期が始まり、学校に子どもたちのにぎやかな声が戻ってきました。この夏は、例年に比べ暑さが厳しい夏休みでしたが、それぞれに思い出ができたことと思います。

私も、この夏ですが、広島市の平和記念資料館に行き、原爆に係る様々な資料を見てきました。その資料から、当時の言葉に尽くせない過酷な様子を改めて驚くとともに、当時のことについてこれまで知らなかったことも知ることができました。その中の一つとして、建物疎開（たてものそかい）を紹介します。当時、広島では、空襲による火災の延焼を防ぐため、建物疎開という、あらかじめ建物を壊して空き地を作る作業をしていたそうです。その作業に多くの学齢期の児童・生徒が当たっており、被害にあったということが記されていました。

安心して安全に生活できることの大切さをひしひしと感じるとともに、子どもたちが安心して学べる場、力を伸ばせる場を今のこの時代の大人たちがつくっていくことの大切さを感じました。資料館には外国からの方も含め、多くの来館者があり、資料をじっと見る姿がありました。今現在でも、世界では戦争が行われている地域がありますが、平和の大切さを多くの人を感じて、安心して暮らせる世の中となつてほしいと強く感じました。

さて、この2学期は、いよいよ本校創立150周年を記念する式典が行われます。これまで、キャッチコピーやイメージキャラクターを決めたり、総合的な学習の時間や生活科において地域に関わる学習を進めたりしてきました。また、創立記念日には、学校の誕生を祝う会を実施するなど、様々な取組を通して、子どもたちにも150周年をお祝いする思いが高まってきています。

この記念すべき節目を、子どもたち、職員、保護者・地域の方とともに、皆さんの心に残る取組としたいと考えています。

また、2学期はもっとも長い学期であり、学習をじっくりと進めるとともに、運動会・音楽会といった全校で取り組む行事をはじめとして、各学年での行事、また、外部の方を招いての学習など、様々な活動があり、子どもたちが多くのことを経験し、大きく成長することができる学期です。

子どもたちが達成感・充実感をもち、そして、自尊感情・自己肯定感を高めていけるようにしていきたいと考えています。

休業中、子どもたちは夏休みならではの経験をし、2学期に向けてと気持ちを新たにしていることと思います。学校の教育活動に御理解・御協力いただき、学校・保護者・地域とともに、子どもたちの学びの充実と成長につながるようになっていきたいと思ひます。また、気にかかることがありましたら、学校にお知らせいただけたらと思ひます。

2学期も引き続きよろしくお願ひいたします。

## 創立 150 周年記念パネル展示会

七夕祭りが行われた7月8日、9日にこれまでの福生一小の写真を展示しました。両日併せて、350人の方が訪れました。卒業生の方も多く来られ、昔の写真を懐かしく感じられていました。また、思い出を語っていかれた方もありました。

